



平成27年3月15日
内閣府（防災担当）

山谷内閣府特命担当大臣（防災）と
オフナー・フレルスフ・モンゴル国副首相との会談



昨日14日午後3時10分から約15分間、山谷内閣府特命担当大臣（防災）（第3回国連防災世界会議議長）は、オフナー・フレルスフ・モンゴル国副首相と会談を行ったところ、概要は以下のとおりです。

1. 冒頭

フレルスフ副首相から、3回目の国連防災世界会議の日本での開催について、世界のこの分野の発展、ひいては世界の平和に貢献しているものと謝意を表するとともに、昨年、両国のEPAが締結されるなど、経済・地域的交流が盛んになっており、両国の戦略的な関係が発展している旨の発言があった。

山谷大臣から、東日本大震災に際し、モンゴルからの救助隊の派遣、国家公務員やウランバートル市役所全員から義援金を拠出いただいたこと等に、改めて謝意を表した。

2. 防災関係

フレルスフ副首相から、防災や災害発生時の救助活動は、世界の国々が協力して取り組まなければならない分野となっており、モンゴル政府としてもこの世界会議を大変重要視していること、この会議で、世界における協力関係を発展させるような決議がなされることと、その実現に努力して参りたい旨の発言があった。

山谷大臣からは、「防災の主流化」を推進すること、「より良い復興（Build Back Better）」を行うこと、様々な主体が防災に取り組むことの3点は、被害の最小化、未然防止、被害が発生した場合の迅速な復旧に大変重要なポイントであり、この会議における宣言の採択及びその実現に向けて努力して参りたい旨の発言があった。

<本件問合せ先>

内閣府（防災担当）現地窓口 馬場、中島

TEL : 0 2 2 - 7 1 3 - 8 7 1 6